京城日報
夕刊
印刷人　小川三之介
發行所　京城府太平通一丁目　京城日報社
八月二十三日　月

外金剛の奇景鉢峰

鉢峰は温井里の川の向ふ、水晶峰とならんでまん丸く黒ずんだ石はだを森林の中に突出してゐる、金剛連峰のうちではあまり知られてゐないが、由緒の深い山である、寫眞の樣な池がそこ、こゝに連り大小百と云はれ、如何なる名石工の鑿も及ばぬ程自然に掘られて清水をたゝへた中に山椒魚の三、四寸のが泳ぎまはつてゐる、この頂きより見ると足下に湯の街温井里が見え、その上に觀音峰、集仙峰、彩霞峰を秋雲が包んでは放し、上から下へと湧き返つてゐる反對側の長箭港は青黒く澄んだ日本海に白砂にかこまれた漁港が幾山た舟を宿してゐて、この峰からの眺望は何時間居ても見あかぬところだ

寫眞▲右上鉢峰、下は鉢峰頂上にある天然の池▲左上、鉢峰上より見たる秋姿の金剛山、集仙峰、彩霞峰▲中は長箭港▲下はなぎさを家路にいそぐ海女さんたち

（23）　邦枝完二作　神保朋世繪

明暗（一）

闇は闇を包んで周圍は暗く、僅かに山下にゆらめく人家の灯だけが、星のやうに冴えてゐた。

おそらくそこに數日の日を經てゐたのであらう。あれ程積つてゐた雪も、今は僅かに跡を殘すばかり。たゞ身に浸みる北風が、[illegible]たく吹いて、東叡山の鐘の音は池のおもてに氷つてゐた。

いつどうしてあの屋敷を脱け出したのか、まつたく不明だつたが、庄吉はフト黒門の石垣近くに佇んでゐるおのれのみすぼらしい姿を闇の中に見出した。這ひつ登りつ逃げたのであらうか。袖は裂け裾は綻れて二目と見られない姿だつた。

殆ど夢中で懷中から取出した[illegible]金の袱紗包を、庄吉は闇に透して見守つた。その手は寒風に血の氣を失つて、無暗に顫へる胴顫ひが止め度なく續いた。

「あゝ、ほんたうにどうしたらいゝだらう、もうお見世へは歸れないし、お嬢さんには一目だけでも會つて、今度の出來事を聞いて頂きたいし。……お、寒い。あすこはたしかに町續き、あんなに灯が見えるけど、もうあたしの足許は眞暗闇になつてしまつた。……』

初め駕籠で屋敷へ連れ込まれた時、そこが上野であることだけは聞いてゐたが、今おのれが逃げ延びて來たこの場所がどこであるかは、庄吉には飽までははつきりしてゐなかつた。見世の近くであるやうにも思へたし、同時に五里も十里も離れた遠い上州あたりの土地であるやうにも思へて、足は右へも左へも容易に運ばなかつた。

「日本橋のお見世はどつちの方だらう。きつと今頃旦那樣やお上さんは、どんなに怒つておゐでのことか知れまい。まさか、お使のお金を駕籠に取られたとは思はないだらうから、きつとあたしが持逃げでもしたことゝ、きめておゐでなさるだらう。――御主人のものは塵つ端ひとつでも誤魔化したことのないあたしだが、かうなつてはどのやうな報いを受けても仕方があるまい。――お嬢樣もさぞかし驚いておゐでのことであらう。お嬢樣たつたひと目でいゝから、お嬢樣にだけはお目に掛つて、この身の明るみを立てゝおきたいなア。だが、それも叶ふことではあるまい。あたしはやつぱり死ぬより外に道はない。――』

この方角がお見世だらうと考へながら、ぢつと闇を見詰めてゐた庄吉の胸には、數年かに亘る長い間の出來事が、恰も走馬燈のやうに展開されて、次から次へと移り行く影は、消さうとすればする程深く刻まれて行つた。

「お嬢樣。――お嬢樣。』

もう一度庄吉は口の中でから呼んで見た。が、もとより犬の遠吠えより外にはなんの返事も聞かれなかつた。

二歩、三歩と、庄吉は泥濘の中に蹌足の足を運びながら呟き續けた。

「お嬢樣。大恩を受けた旦那樣やお上さんには、申譯ございません。が、少しやそつとのお金ではございません。三十兩といふ大金を、あの駕籠に奪ひ取られてしまひました庄吉、今更お見世へも歸れません。何ひとつ御恩返しもいたしませぬうち、かやうなことになりましたのは、返すがへすも殘念でなりませんが、これも前の世からの約束事でございませう。――ひと目なりともお目に掛つて、せめてお暇乞いだけでもいたしたいと思つて見ましても、かうなりましてはそれさへ叶はぬやうな氣がいたします。わたくしが死にました後は、何もかもなかつた昔とお諦め下すつて、どうか御殿へお上り下さいまし。さうして三年の御奉公が濟みましたなら、旦那樣のお目鏡に叶つたよいお婿さんをおもらひなさいますやう、わたくしはあの世からお祈り申して居ります。』

庄吉の聲は次第に低くなつて、果ては涙が次の聲を壓いてしまつた。

+

我は急がず焦らず 濠洲はうろたふ
本年度の羊毛初市は目前
日濠通商戰

【東京電話】八月卅一日から開始の本年度、濠洲羊毛初市を目前に控へて、日濠通商戰を繞る兩國間の空氣は益々デリケートな雰圍氣を孕んで來た、濠洲では牧羊業者、輸入業者の悲鳴に相次ぎシドニー、ブリスベーンの言論機關、さてはブルグマンといふ坊さん迄が政府攻擊に乘出す始末で、これに對ライオンズ首相は去る十七日の放送に於て、日濠通商惡化の責任は日本のみ負ふべきものと前提し、日本がその賠償にして過當の商品輸出を自制せざる限り、政府の採れる措置は變更の要なしと稱明的大見得を切るなど躍起たる態勢を展開してゐるが、これに對し日本は整然たる國論統一の態勢を以て日印、日加紛爭を通じ習つて見ざる鞏固な團結をみせてゐる、かゝる整然たる統制の裏面には政府が巧に業者の動靜をリードし例令ば濠毛輸入制限の如き今以つてその買付許可數量の限界を明示せず、有耶無耶の裡に過してゐる事が、濠洲側に不測の脅威を與へて居る効果があるといはれてをり今後益々濠洲側の焦燥と混亂とに對して日本は急がず焦らず有利に態勢を指導し得るものとみられてゐる

濠洲羊毛業者 共同聲明書
日濠關係で政府鞭撻

【東京電話】ライオンズ濠洲首相の放送演說に對して濠洲羊毛關係者は日濠貿易の交涉再開に對する具體策を作成要求してゐるが二十二日村井シドニー總領事から外務省への報告によれば全濠羊毛協議會々長グリー氏、羊毛仲買業者評議會々長アボット氏、全濠羊毛生產者協議會々長ボイド氏は二十日メルボルン市において共同聲明書を發表し政府の猛省を促す所あつた、聲明書內容左の如し

濠洲政府當局は東濠兩國の產業保護政策を蹂躙することはあくまでも不可能であるが、現政策の範圍內において日濠紛爭を解決すべき餘地は十分にある筈である、ライオンズ首相はさきの放送演說において日濠交涉打開の用意ある旨を明言したが、今期の羊毛競賣期に亘り吾人が甚しく難局に遭遇するが如きことあらば上記三組合は牧羊關係者利益のため有効適切なる何等かの措置を採らざるを得ぬことをこゝに明言しておく、日濠兩國政府共交涉再開に努力してゐるのであるし、兩國がその通商貿易關係において相互依存の關係にあるのであるから若し一方積極に再開を提示しない場合においては他方から積極的に呼びかける當然の義務がある、かくの如き措置は決して一班の弱味を示すものではなく吾人は却つて明白な常識を示すものであると解釋する、ライオンズ首相の猛省を促す所以である

と牧羊關係者の背水の陣を布きたる政府鞭撻こそは近く何等かの具體的局面となつて表現せらるべく村井總領事は窃かに濠洲側の出様如何によつて局面に善處することになつてゐる

蘇聯問題協議
ヨセミテ太平洋會議

【ヨセミテ「カルフオニヤ州」廿二日同盟】二十日夜の總會を以て日本問題の討議を無事終了した太平洋會議は二十一日朝の總會より蘇聯問題に移り蘇聯代表より蘇聯の經濟的發展の實體につき說明ありて後アメリカ代表ニユートン・ベーカー氏を議長として蘇聯問題に移り蘇聯の經濟的發展が日米支三ケ國に及ぼす影響が論議されデレツク教授、ロム卿は蘇聯代表の說明に對し左の如き蘇聯擁護論を試みた

輸入より輸出の少い蘇聯の貿易に依り日米支三國は利益を受けつゝあるが統一國家の經濟にある生產は豫め世界の需得に即して制限して世界的貿易戰爭の弊を嫌め理想的な生產形態とすべきである

右に對し濠洲代表より反對論駁あり

この世の中の實在は約束の地に向つて鮮血に染つた赤い海を渡る人間はあるまいと思ふ

と揶揄するなどの餘興あり次いで外蒙問題に移り外蒙の經濟設備、蘇支問題が論議され會議を了つて後日本代表山川端夫博士、芳澤謙吉氏はカナダ代表タフオード氏及びタール氏と晩餐を共にして日加通商問題につき懇談した

ソヴエート 陰謀事件
銃殺の求刑

【モスコー廿二日同盟】ジノヴイエフ、カメネフ、エフドキモフ、ムラチエフスキー、トガエフ等十六名にかゝるキーロフ暗殺テロ陰謀事件に關する公判は二十二日最終的大審院軍事部において續行、檢事ヴイシンスキー氏は右十六名に對して銃殺の求刑を行つた

沿海の交通量

朝鮮沿岸にある各燈台の調査に依ると最近一ケ月間に各燈台附近を通過した船舶の總數は三萬九百五十隻であるがこれを前年同期における通過船舶に比較すると三千八百隻を增加してゐる

佛蘇提携に對して 獨墺愈よ接近
兩國間に新通商協定が成立

【東京電話】歐洲の新たなる勢力均衡關係として注目すべき佛蘇聯盟に對する獨墺親善關係は、その後益々兩國に發展して、最近の情報によると兩國間には今回劃期的な通商協定が成立した、即ち兩國代表は七月廿七日以來ベルリンに會合して、經濟上の親善促進策につき協議してゐたが、今度愈よ

一、兩國間の輸出入手續きを簡易化し同時に輸出割當額を增加して墺の獨逸向け牛馬、木材、チーズ、クリーム輸出を增加すると共に獨に墺國向け石炭輸出を增加する

二、支拂制度に關する一九三四年八月の兩國銀行間の私的協定を今後、政府間の協定に引直す

三、獨は從來對墺旅行者に賦課してゐた一千マルクの手數料を廢止し、墺は對獨旅行制限令を廢止する

旨の協定が成つた模樣で、歐洲最近の政治的動向を示唆する一指標として注目される

スペイン擾亂畫報　ドレド市から

【上】民家の窓から應戰する政府軍【下】タンクを先頭に進む政府軍

後藤又兵衞 (108)

大島伯鶴演　中江正美畫

陪臣は厭だ

スルト、後藤又兵衞が

「否。明日にも御目通り致し度く存じました所、今日、圖らずも御拜顏を得ましたる次第……」

と、言ふと、正則が、

「オ、然うであつたか？何に致せ往來にては物語りもなるまい、予と一緒に城中へまゐれ」

「有難き仕合せ、御供仕りまする」

と、茲で又兵衞は、正則と共に城中へまゐり、改めて對面の挨拶が終ると、正則が、

「又兵衞、其方も浪人致して、嘸かし難儀致すであらうの」

と、言つた。又兵衞は莞爾として、

「されば、お察しの如く大困難致し居りまする、依つて、殿にも何分の御助力を仰ぎ度く心得居りまする次第」

と言つたが、是は、正則から聞かれたのを幸ひ何程かの無心をする心算。スルト、正則が、

「おゝさうであつたか。どうじや又兵衞、暫く予の許に遊んで居つては、扶持として一千石與へるであらう」

と言つた。

「これはどうも恐れ入りまする、しかし折角のお言葉乍ら、この儀は御辭退仕まする」

と言ふ、

「何故辭退致すか？予が、其方を召抱へるわけではないぞ。當分、予の許に遊んで居る小遣ひとし與へるものぢや」

「左様でも御座りませうが、茲一兩年諸國を遍歷致したく存じますれば、平に御辭退申上げまする、追つて兩三年の後に更めてお召抱へにあづかり度く」

と言ふと、

「ウム、それも尤もである。デハ其方の隨意に致すがよい」

茲で、廣島城內に四五日遊んでみることになつたが、スルと、正則の前に出てゐる若侍達の顔を見ると、どうしたのか一人として滿足なものはゐない

何れを見ても頭が瘤だらけで、腫れ上つてゐる。ソコで又兵衞が

「各々はよほど武藝熱心と見へ、頭に竹刀瘤が入つてゐるやうで御座るが、流石は福島家の御家臣、恐れ入つた……」

と褒めると、

「イエ何、後藤どの。これは竹刀の瘤ではござらんよ」

「ナニ、竹刀瘤ではないと、デハ如何致しましたナ」

訊ねられて、近侍の一人が、

「後藤どの、お聞き下さい。近頃御主君は、圍碁を好み、それがために吾々共の頭に、瘤の絕える暇がござらん」

と、言つた。又兵衞は、不審に思つて

「ハヽア、それは不思議な事。併し正則侯が圍碁を好むからと申して、何故、各々の頭に瘤が絕へぬか」

「されば、御主君は、至つて圍碁が下手でございまして、吾々共が勝利を得まするとて、主人に對つて勝つといふことがあるか？不禮な奴であるポカリツ！又、負ければ負けるで其方共は、予に遠慮致して負けたものであらう。怪しからん奴である。ポカリツ！かう言ふわけで、負けても、勝つても瘤を逃れるわけにはまゐりません。それがために、吾々の頭は年中瘤だらけで御座いまして……」

と、言つた。

「ウーム、それは、いよ〳〵怪しからん！如何に御主君なればとてそれではあまり我儘過ぎる。よろしい、斯申す又兵衞が、お相手申し、正則侯を充分懲しめて進ぜやう」

と、言つた。

地方版

檜舞に人氣集中
沙里院邑主催で開かれる 郷土藝術の大宣傳

【沙里院】沙里院特有の郷土藝術たる假面舞大會は本府當局の慫慂によつて沙里院邑が主催となり鳳山郡廳後援の下に來る三十一日沙里院山臺廣場で大々的に開催することとなり期日切迫につれ前人氣旺盛である、因に妓生組合では數夜を通じ出演者の猛練習が繼續されてゐる

沙里院の泥棒

【沙里院】二十一日の夜北里徳盛學校教師金俊澤氏方と同里邑書記金華鉉氏方に窃盜が侵入、前者方よりは白米二斗、眞鍮製膳、食器數點を、後者方よりは白米五斗と前記同樣食器を盜まれた旨の届出に接し沙里院署で犯人嚴探中

建設の槌の音に 榮える國境都市
建築物の叢立に面目一新
躍進新義州の威容

【新義州】興隆滿洲國を對岸に控へて一路工業都市としての躍進譜を奏でつゝある國境新義州の建設は道立醫院、産業奬勵館、多獅島鐵道事務所の三大建築を筆頭として現在までの新築百五十五件、改築十九件、増築五十七件、修繕二十件、修繕二十四件に上り殊に表玄關を飾る驛前廣場は見るくうちに大小の建物が叢立し、數十年間塵埃と雜風に見棄てられてゐた廣場も文字通り表玄關の威容を飾るにふさはしいものとなり、このほか近く誘致されんとしてゐる精錬所、無水アルコール工場、鐘紡パルプ工場の工業的一大進出をはじめ森直親氏の化學工場進出など、多獅島鐵道と同築港の完成がもたらす西鮮交通の劃期的革命と相俟つて鴨緑江が所有する宏大なる電力量は必然的に國境地帶の工業的躍進となり對岸滿洲國と相呼應して國境都市新義州の前途は日一日と躍進の一途を辿りつゝある

……男を同炭坑監督金某が發見し取押へて同署につき出した、同里一の白某(二)といひ去る五月上旬より十餘回に亘つて同様に坑木を盜取したことを自白したが餘罪多數ある見込みで引續き取調べてゐる

棟梁の卵大持て
職業學校の建築請負實習に 申込み殺到の盛況

[illegible]

群山府會 廿五日開く

【群山】府では二十五日午後一時から府廳樓上で第三十七回府會を招集することに決定した、附議案は左の通り
▲十一年度歳入出追加豫算▲群山府産業奬勵資金貸付條例改正 [illegible]

不義の子殺し 懲役二年求刑

[illegible]

バス線復舊 驪州の交通

[illegible]

腐敗林檎を賣る 大邱の不徳漢

[illegible]

古都に迎へる初の外人客
秋色動く平壤の賑ひ

[illegible]

手の長い助手

[illegible]

枕木ドロ

[illegible]

地主の暴擧に アワや血の雨
重なる横暴手段に堪りかね 千餘名の住民激昂

[illegible]

崩潰に瀕する名樓古門蘇へる
本府から平壤の古蹟費で まづ四虚亭を修理

[illegible]

凄まじき同胞の北進
北滿五省への朝鮮人移民 三年間に倍加の激增ぶり

[illegible]

二少年に冷い現實
北鮮景氣の夢破れ流浪

[illegible]

開城の强盜 犯人を逮捕

[illegible]

昇段次手合戰譜 (6)
日本棋院
三段 苅部榮三郎
二段 坂田榮男

對局者の言葉

……『白『ち九』黒八十白『と十』黒『へ九』白『り十』黒『ち十一』白八四となつて成果は期しがたいのです
(白)八十で八二に受けると、黒『に十』とノビられて重くなりさうなので――
(白)八二で『へ八』のコスミ出しも振替られた場合、得失が分りません
(黒)八五以下の手段があるので、中の黒は取られようとは思つてゐなかつた

評解
五段 長谷川章

○白七八の押へが後に黒八五以下の筋を殘つて面白くなかつた

(分)
●七七 る六 ○七八 を六
●七九 に十一 1 ○八〇 と九 2
●八一 は九 13 ○八二 は十一 5
●八三 と八 ○八四 り十一 4
●八五 か八 2 ○八六 を九 26
●八七 か十 11 ○八八 よ十 4
●八九 か十一 7 ○九〇 た十一
(一分以内は切捨)
所要時間累計 (白 六・四八 黒 二・四八)
(制限時間各八時間)

こゝは『わ七』のトビで辛抱してゐたい
●黒七九、八一の斷然たる運びは到底成算あるものゝ態度とは解しがたく、非勢を招つての強引としか受取れない
此の黒七九では八三にコスむ位が相場であらうが、白八四のトビの後に『へ七』の連絡を殘して不氣味の點を免れない
こゝは『へ七』にトンで一著以て連絡し、その後に於いて善後策を講ずるより外はないであらう
○白八二では『へ八』にコスンで振替りの筋に出たい所だが、前に指摘した白七八の押へが不當なりしため、黒八五以下の狙ひがあつて果して振替りを黒が甘受するや否やが疑問とされるのである
●黒八五以下の中央の眼形工作は白の不備を衝いた鋭どい狙ひの實現であつて、白も應急處置に當惑した事と思はれる

無慈悲なリンチ
芋一つ取つた幼兒を傷害 亂暴な男送局さる

【平壤】去る十九日午後四時ごろ大同郡柴足面馬場里三六七農業李用淡(四八)は自己所有の芋畑に同里金學鍵の二男金樂弼(九つ)と崔淑伸の長男崔敬模(六つ)の二人が入つて一個宛の芋を掘つて持ち歸らんとするのを發見、叱咤して逃げる二人の子供を鷲づかみに引づつて自宅に歸り泣き謝まる二人の子供を無慈悲にも散々毆打した上、同五時頃歸宅したが毆打された金樂弼は耳をひどく打たれて中耳炎を起し入院、餘る重態であるといふことを知つた大同署では芋一つ掘つた子供に對する私刑の程度が餘りにもひどいと同人を引致し傷害罪として取調べてゐたところ此程取調べも大體濟んだので二十二日一件書類と共に身柄を平壤地方法院檢事局に送局した

親不孝の典型
親爺に叱られた腹いせに 自宅に放火した男

[illegible] して自宅を焼き拂ふべく物置に積んである松葉に火を放ち、同家を半焼させ何れへか逃走した、江東署では李の行方を追及中、二十二日午前八時頃同郡高飛里炭坑内に潜伏してゐるのを逮捕した

性懲りない飲料水屋
大邱で又も數百本發見

【大邱】長雨後の傳染病跳梁期といふのにまたくく不良清涼飲料水が大量發見され當局を驚かせてゐる…大邱署衛生係では嚴に府内の清涼飲料水の一齊檢査を行ひ約二千餘の不良物を發見、嚴重に處罰したが、更に二十日製造元を檢査したところサイダー、氷蜜など數百本による不良品を發見した、嚴重處分の方針であるが一般需要者も飲用の際は十二分の注意が肝要である

羅津商工會 重要問題協議

【羅津】商工會では二十一日午後一時から議員會を開き柳澤會長から田口邑長留任事情を通告した後▲日本海航路就航船の羅津先航促進▲市内バスの滿洲國開通に關し、邑に橋梁及道路修理方要望▲市内タクシーの不足及サービス改善要望 等當面の諸問題につき種々協議を遂げた

人の動き

▲伊達慶北知事 大野政務總監出迎へのため二十一日釜山へ
▲下飯坂慶北警察部長 同上
▲門脇大邱府尹 同上
▲後藤慶北山林主事 二十三日から八日間安東郡へ
▲調慶北農務課長 二十三日から四日間釜山へ
▲鄭醴泉面長 新任挨拶のため二十二日本社支局來訪
▲富山本府警務局事務官 水害視察のため二十一日安東より醴泉を經て聞慶へ
▲中島慶北保安課長 同上
▲井出十九師團參謀長 二十一日歸任
▲藪木慶興郡守 二十一日羅南發赴任
▲張咸北道參與官 二十一日會寧へ、即日歸任
▲河原○○隊長 幹部と共に二十一日會寧着任
▲楠滿州公立農業學校長 二十一日會寧へ
▲足立海州酒造會社專務 廿一日羅津視察
▲津田綠旗聯盟本部講師 同上
▲函館市會議員視察團八名 廿五日羅津視察
▲井上咸興衛戍病院長 新任挨拶のため本社支局來訪
▲鈴木公州郵便局長 廿二日大田へ、即日歸任
▲原田公州地方法院長 同上
▲早田同檢事正 同上
▲村岡公州警察署長 水害狀況報告の爲め同上
▲元扶餘郡守 二十二日水害狀況報告の爲道廳訪問、廿三日歸任
▲松島三男氏(群山法院支廳上席檢事)二十二日着任

雀の大群 農作物を荒す
東萊郡で狩獵隊出動

[illegible] 安議へ狩獵許可を願出で廿五日から九月末までの間、東萊邑内本間政雄氏ほか二十名の狩獵家が先頭に立つて一齊に雀狩りを行ひ獲物は温泉と釜山府内で適當に處分することになつた

無言の凱旋 七柱鄕土へ

【釜山】討匪行にあたり名譽の戰死を遂げた滿洲國海軍部小澤少佐ほか六柱の遺骨は遺族と戰友に護られて廿一日夜十時五十分着列車で來釜、釜山港軍海軍班有志多數の出迎への裡に同夜連絡船で内地へ向け無言の凱旋をした

全北辭令 (二十三日附)

道警部補(金堤) 鼓問 仁道
任道警部(八級俸)命道高等課勤務
道警部補(群山) 山本 正一
命道高等課勤務
道警部補(扶安) 石川 道夫
命金堤署勤務
道巡査(群山) 福井八十松
任道警部補、命扶安署勤務

京城日報
朝鮮語講義錄
普通學校朝鮮語讀本譯解
わかり易い朝鮮語會話
朝鮮語研究會
天下一品！一家一壜！
イラトインキ
篠崎インキ製造株式會社
農業世界
九月號
秋の家庭園藝手引
新人寄稿懸賞募集
博文館
全家庭讀物の淨化運動
短歌文學全集
こ の名歌！この名文！本全集を持つは國民の誇りだ!!
第一書房
豫約募集 全十二卷
若山牧水篇
石川啄木篇
與謝野晶子篇
北原白秋篇
窪田空穗篇
釋迢空篇
齋藤茂吉篇
前田夕暮篇
佐佐木信綱篇
島木赤彥篇
木下利玄篇
伊藤左千夫篇
我々の最も偉大な國民的十二歌仙の代表的傑作（名歌と名文）を悉く網羅した比類なき大全集!!
立派な家寶になる短歌文學全集
過去に萬葉集あり、今日に本全集あり!! 野口米次郎
羅馬の癈都に白百合を飾る如き美擧!! 萩原朔太郎
近來無比の大全集 文學博士 五十嵐力
第一回配本出來
若山牧水篇
商業登記公告
ミツワ石鹸標語
暑中休暇を利用して皆さんこの懸賞をお出し下さい
特に小學生諸君のカキカタを歡迎します
懸賞書方募集
懸賞書方の課題
◎ミツワ三百六十五日
◎ミツワ良い品徳な品
◎舶來無用國産ミツワ
◎肌の青春ミツワの威力
◎ミゴトナ泡立 ツカツテ爽快 ワスレヌ芳香
◎愛用はミツワですると美しい
◎賢い主婦はミツワを選ぶ
◎家に良妻風呂場にミツワ
◎ミツワに馴れて肌うらら
◎化粧は生地からミツワから
◎ミツワ好く人化粧も上手
◎ミツワで育てた今日の花嫁
◎ミツワで判るお人柄
◎豪華な品質廉價なミツワ
右の課題中より一題を御選び下さい。但しミツワの文字は片假名を御用ひ商標の文字と違つてもよろしい。
用紙　半紙若くはそれ以上隨意（但し無表裝なること）
書體　楷書、行書、草書の中隨意但し毛筆でお書き下さい
締切　昭和十一年九月十五日
送り先　東京市日本橋區兩國 丸見屋商店競書係
發表　昭和十一年十月下旬 新聞紙上に發表
審査員
泰東書道院總務 日本書道學校長 岩田鶴皐先生
泰東書道院總務 西脇吳石先生
泰東書道院顧問 東京女子高等師範教授 文學博士 尾上柴舟先生
泰東書道院美術顧問 高田竹山先生
泰東書道院總務 東京高等師範講師 田代秋鶴先生
泰東書道院總務 中村春堂先生
泰東書道院總務 豐道春海先生
（イロハ順）
大人の方への賞品は
金賞　特製大形文鎭一個宛　二名
副賞　金三十圓宛
銀賞　特製大形文鎭一個宛　三名
副賞　金二十圓宛
銅賞　特製大形文鎭一個宛　十名
副賞　金拾圓宛
佳作　特製メタル一個宛 ミツワ石鹸一個宛　五百名
小學生方への賞品は
金賞　特製大形文鎭一個宛　二名
副賞　自轉車、バイオリン、ポータブル蓄音器、寫眞器の中一種選定御隨意
銀賞　特製大形文鎭一個宛　三名
副賞　腕時計、時計付インクスタンド、水彩繪具セット、小形ミシンの中一種選定御隨意
銅賞　特製大形文鎭一個宛　十名
副賞　目覺時計、ピンポンセット、通學用鞄、鉛筆ケヅリの中一種選定御隨意
佳作　特製メタル一個宛 ミツワ石鹸一個宛　五百名
金賞受領者在學校に對して吳絽製大國旗一旒呈上
御注意
①出品は郵送に限ります、郵税不足のなきやう願ひます
②出品は其表面に氏名を記し裏面には御住所御氏名を別の紙に記して御貼付を願ひます、小學兒童は表面に學級氏名を、裏面には學校名住所氏名を別の紙に記して御貼付下さい
③出品は一切御返却致しません
④發表前の御問合せは御容赦下さい
⑤發表後當選作を新聞紙上に掲載し或は展覽會其他を開催するやも知れません豫め御諒承を願ひます
主催　ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店
後援　泰東書道院

全鮮水害義捐金募集

◇募集の趣旨　今回の大水害は洛東江、臨津江、漢江、錦江、萬頃江流域を中心として各地に激甚なる慘禍を呈し、殊に今回の豪雨は短時間に於ける降雨量多き爲め、河川の氾濫急にして避難の餘裕なく山間部の諸所に山津波さへ生じ十八日正午現在人の死傷は實に七百數十名に達し、これと共に耕地、農作物の被害は甚大なるものあり之等多數の罹災者はその家を失ひ耕地を奪はれ衣食に窮し或は親子兄弟死別する、その慘狀は言語に絕す、依つて朝鮮社會事業協會は廣く一般より義捐金を募集することゝなり在城各社はこの擧に後援し世の同情に愬へ罹災同胞の救濟賑恤に力を致さんとす

◇期間　昭和十一年八月十八日より九月末日

◇寄附金額　隨意

◇義捐金受付　朝鮮社會事業協會各道支部、朝鮮各道府郡島邑面、主催團體、後援新聞社及團體

◇募集主體　財團法人朝鮮社會事業協會

◇後援團體　（イロハ順）東亞日報社、朝鮮日々新聞社、朝鮮日報社、朝鮮中央日報社、朝鮮新聞社、毎日申報社、京城日報社、各支部に於て依賴する地方新聞社、日本赤十字社朝鮮本部、愛國婦人會朝鮮本部

朝鮮軍復讐成らず

八種目に堂々大會新記錄

鮮滿對抗陸上大會

第四回鮮滿對抗陸上競技大會は廿三日午後一時から京城運動場に開かれた、全朝鮮軍にとつては一勝二敗で是非勝ち度いところであつたが豫想通りスプリンターの豐富な全滿洲軍のために又しても九三點二分、對七、點三分二で返り討ちされた、この日前夜來の雨でトラック、ソネールド共に軟柔、殊に後半には雨滴さへ加はり良好なコンディションとは云へなかつたが八種目に大會新記錄を出し、その中福田君（鮮）の走巾跳七米二四、木村君（鮮）の走高跳一米九四の兩朝鮮新記錄と米津君（滿）の中距離五五秒四の滿洲新記錄は特筆さるべき收穫であつた、特に早大出身木村君の走高跳一米九四は全國OB中では稀な記錄で、關西出身の元氣盛りな柳本君の追蹤を避けてこの好記錄を出したことは猛烈な頑張りとファイティングにあつたと云ひ得る柳本君また木村君とは雁とするに足る、五千米では張り合つて一米九〇を跳んだことは始めよく頑張つて完勝した、この試合で朝鮮軍のスプリンター不足の感を愈々深められたし山根君の不出場は痛手であつた、不斷の練習が必要であらう

◇百米　1福田（鮮）十一秒二　2菊地（滿）十一秒三　3對馬（滿）十一秒三　4田中（滿）

◇八百米　1瀬口（滿）二分〇秒六（大會新記錄）2朝倉（鮮）二分一秒三　3山本道（滿）4三好（鮮）

◇走高跳　1木村一夫（鮮）一米九四（大會朝鮮新記錄）2桝本（滿）一米九〇　3岡本（滿）一米八五　4久原（鮮）庭內（鮮）加藤（滿）一米八〇

◇棒高跳　1齋田幸治（鮮）三米九〇（大會新記錄）2阿部（滿）三米八五（大會新記錄）3岩本（鮮）三米八〇　4久垣（滿）

◇四百米　1井上（滿）五〇秒七　2山本直（滿）五一秒八　3松本（滿）4三好（鮮）

◇砲丸投　1吉村（滿）一二米四二（大會新記錄）2高祖（滿）一二米〇三　3柴田（鮮）一一米九六　4邊隈（滿）

◇走巾跳　1福田（鮮）七米二四（大會朝鮮新記錄）2庭內（鮮）七米〇九　3對馬（滿）六米九五　4金子（滿）六米五七

◇千五百米　1柳長春（鮮）四分

◇圓盤投　1劉約翰（鮮）四〇米六五　2伊藤（滿）三七米五一　3

◇高障碍　1米津（滿）一五秒五　2李章完（鮮）一六秒一　3加藤（滿）4山本一正（鮮）

◇槍投　1白石（滿）五九米七八　2安榮植（鮮）五八米二五　3松崎（鮮）

◇三段跳　1金子（滿）一四米（　）2久原（鮮）一三米四七　3對馬（滿）一三米二六

◇走高跳　1木村一夫（鮮）一米九四（大會朝鮮新記錄）2桝本（滿）一米九〇　3岡本（滿）庭內（鮮）一米八五　4久原（鮮）加藤（滿）一米八〇

◇槍投　1國井（滿）五三米九七　2德久（鮮）五三米〇六　3近藤（滿）五一米八三　4濱田（鮮）五一米六八

◇中障碍　1米津（滿）五五秒四（大會並滿洲新記錄）2松本（滿）五八秒九　3加藤（滿）4李

◇二百米　1井上（滿）二三秒九　2菊地（滿）二三秒一　3福田（鮮）4松田（滿）

◇五千米　1柳長春（鮮）一五分四二秒八（大會新記錄）2吳東範（鮮）一六分〇秒四　3崔俊根（鮮）4瀬口（滿）

◇瑞典繼走　1滿洲（菊地、田中、井上、山本直）二分一秒二（大會新記錄）2朝鮮（韓浩錫、福田庭內、三好）

清鐵快勝

全鮮爭覇戰北鮮豫選

【城津電話】本社主催全鮮野球爭覇戰北鮮第二次豫選清津鐵道對咸興戰は二十三日午前十時四十五分より城津球場で咸興先攻で開始、結局十九A對五で淸鐵快勝した、スコアー左の通り

咸興	0 0 5 0 0 0 0 0 0 ｜ 5
清鐵	0 0 6 0 3 1 0 3 4 ｜ 19

東京大會へ期待

澁谷陸上監督語る

【パリ二十二日同盟】オリムピック大會參加日本陸上軍澁谷監督一行はプラーグよりパリに到着、二十二日擧行される日佛米三國陸上競技會に臨むが澁谷監督は語る

ベルリンにおいての日本陸上軍の成績は我々の期待に副ふことが出來ない程度だつた、實際はもう少しよい成績を擧げ得るつもりだつたが、まああの程度で今回は我慢せねばなるまい、一九四〇年の東京大會に日本陸上軍が如何なる成績を擧げ得るか、十分期待を有つて見てゐて貰ひたい

我軍大勝す

對佛籠球戰

【パリ二十二日同盟】二十一日ロンドンから海路パリに到着した我オリムピック籠球對フランス・レージング・クラブ戰は二十二日午後三時から同クラブコートにおいて觀衆約二千を集め佐藤駐佛大使家族の觀戰のもとに擧行六十八對十七で大勝し更に午後四時から佛國オリムピック代表チームと戰ひこれまた四十三對三十四で日本の勝となつた、尙ほ日本チームは二十三日は市內見物、二十四日ジュネヴァに向ふことゝなつた、戰績左の如し

日本 43（1726―2014）34 フランス・オリムピック代表

國際軍惜敗す

鶴見補手は負傷入院

ヨセミテ野球大會

【ヨセミテ廿五日同盟】第六回太平洋會議は二十二日を以て第八日に至つたが、二十一日は首席代表は休林めに軟式野球に打興じた試合は米國チーム、先陣第三チーム（ダーバーカ氏）對國際軍（日本代表部よりは鶴見補手、西園寺公、氏）近衞文隆氏で行はれたが、近衞氏は野球の國米國チームは六回までに十對四と國際軍を引離し六回でコールドゲームとなり鶴見選手は內野フライを取らうとし足に突撃を起し直ちに病院に擔ぎ込まれた、西園寺氏（西園寺八郎氏長男）は國際軍のピッチャーとなり好投を續け近衞文隆氏（近衞文麿公長男）は一壘を守つてエラー一つもなく和氣藹々裡に試合を終つた

全日本勝つ

女子卓球戰

朝鮮卓球協會主催全日本女子卓球招聘戰第二日は廿三日午前十時から京城府民館中講堂で開催、戰績は次の通り、全日本軍が勝利を博した

全日本軍		奈女高普軍
保原	3―0	金春姬
西山	3―1	許完順
勝山	3―0	卞先愛
眞田	3―0	伊明鎬
戶辻	3―1	李英根
保原	3―0	許完順
西山	3―1	卞先愛
勝山	3―0	李英根
眞田	3―0	任昌華
戶辻	3―0	金春姬
西山	3―1	全部城軍
勝山	3―0	李巳祖
眞田	3―1	趙順男
戶辻	3―2	姜影玉
賀山	3―0	李福求
賀辻	3―0	韓慶熙

本社ベルリン特派員…名取洋之助撮影

第十一回オリムピック寫眞陳列

八月廿二日より廿四日迄　京城本町二丁目　大澤商會樓上

京城日報社

選擧運動に關する注意事項

京畿道警察部發表

今回の京城府會議員選擧について京畿道警察部では次の如き注意事項を發表した

……

三、選擧運動に關する演說會の開催に關する事項

……

九、候補者、運動者は勿論有權者一般人の心得置くべき事項

……選擧運動に關し無屆運動を爲したり金錢物品其の他財産上の利益を供與又は饗應の條り選擧の妨害となすことは規則に違反となり處罰せらることは規則に詳しく明示しあるから茲に一々之が說明をせざるも往々不用意の間に之に觸れ易く而も左の場合は違反となるべきを以つて特に注意されたし

本紙一萬號記念懸賞長篇小說當選

春を待つもの（408）

山下ハル子
寺本忠雄畫

元山へ（二）

鬮一郎が此處欽明路隧道の主任技手として赴任以來早、三月近くの日が過ぎた。

その間約四百米近くの工事が進行してゐた。强力な獨逸製の鑿岩機を二臺使用してゐたとは云へ、欽明路隧道工事は本省で計畫してゐた約二倍程の速さで、どんどん掘鑿を續けてゐる。

約二年はかゝるとせられてゐた隧道開通期も、鬮ひ、半年やそこいらは充分短縮されると云ふことも豫想されることだつた。

丹那隧道で頭を惱らされてゐた建設局長、工事課長達、ひいては山口建設所長も專ら欽明路隧道に關する限り鼻を高くすることが出來る譯だつた。

試みに山口建設の人名簿を繰つて見るならば、先づ第一に名の見える人は、何んと云つても所長だが、その次には宗像鬮一郎の名を見出す筈だ。祭し現在の山口建設としては、その名譽に關する工事は、欽明路隧道以外にはないので、何んと云つても現場主任の鬮一郎の勢力は、僅に、所長のそれを凌駕する程だつたが、鬮一郎自身は、そのことを餘り好まぬらしく、例へば、鑿岩機一台購入する場合でも、自分が買ひたいと思ふ機械の名を一應所長に申告してその諒解を求めると云つたやり方で、紳士的な態度を以つてしてゐた。

そのやうなやり口は當然部下の技師の上にも、ずつと降れば、飯場で豚のやうに寢起きしながら坑道で働いてゐる坑夫達の上にも延びて行くのは理の當然かも知れない。

鬮一郎は、坑道の中で働いてゐる一介の卑しい坑夫にも、兄弟に對するやうな愛情を以つて接してゐた。だからこそ、坑夫達は、鬮一郎の命には絶對服從を誓へ、時には鬮一郎の器に自分達の偶像を發見した程に驚嘆することも珍しいことではない——。

そのやうな環境の下にゐた鬮一郎にとつては、仕事そのものが唯一無二の慰樂境であるとも不思議はないかも知れない。風の便りに、愛子が結婚と同時に外遊の旅に出たことも知つてはゐるが、彼には仕事がある——可愛いゝ坑夫達がゐた——と、且つて强ひて慰めとしてゐたのだつた。だが、それは鬮一郎が强めて愛子を忘れようとしての一つて手段で、鬮一郎の心の奥底には、歪められた愛慕が今も何、歪められたまゝ彼を苦しめてゐるのだつた。さうして、彼の心の中には、何時の間にか一つの徑時が、はつきり現れ始めた。

それは、此の先、愛と名のつくものは持つまい——と云ふことだつた。

今日も今日とて彼は、晝間坑夫達がダイナマイトを仕掛ける仕度をしてゐた場所へと足を向けてゐたのだつた。

時間は丁度八時頃で、三交代の夜の分を受持つ坑夫達が、パラパラ坑門の方へ動いて行くのが暗い闇の中でも、それと解つた。

油の滲んだ作業服に卷ゲートル姿の鬮一郎は手に持つたアセチリン燈を少し眼目にして足元を照し乍ら歩いてゐた。

傍を通り拔けて行く坑夫達も大同小異の身仕度をしてゐるので、中には、仲間と間違ひして後から「おう——。今かい」と聲をかけて通りすぎようとして、鬮一郎だつたことに氣付いて吃驚して立止つてしまふ男もゐた。彼等には、技師さんや技手さんのやうに偉い方は晝間しか顏を出さない方と決めてゐるので、夜途で主任技師に逢ふことなどは考へられないことだつた。

アセチリン瓦斯の若しい光を頼りに、飯場の長い建物が在つのと黒く目に映る處迄來た時、その建物の陰で組んづ解れつして、時々、野郎ッ、畜生——叫び合つてゐる黒い影に思はず足を留めた。四五尺程の近さに寄つて、鬮一郎は、組打ちをしてゐる男達に燈りを差出してみると、それは、二人共出面の仕度をした若い坑夫だつた。

一人は、飯場をやつてゐる男の息子で、その男の手には匕首が握られてゐた。

廿四日番組（月曜日）

第一放送

午前六時（東）ラヂオ體操
同六時三〇分（長）英語會話講座（八）H・Wジョンス C・Kパーカー
同七時 今日の天氣見込
同七時一分（京）朝の修養 琴山 詩提唱（二〇）山崎大耕
同九時（東）家庭メモ
同九時一〇分 氣象通報（釜山）
同九時一五分 氣象通報・料理獻立（牛肉の擂鉢燒）
同一〇時三〇分（東）母の時間 新學期の爲に「健康」 醫學博士 齋藤潔
正午（東）時報 日用品値段・鮮魚仲値段
午後零時五分 端唄 一、立山節 二、米山甚句 三、梅さび 四、奴さん 五、ぴんぼつ 六、春の雨
端唄 李貞淑
三味線 山崎學子
同三〇分（大）國民歌謡——桃谷演奏所より中繼
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ
一、朝顏の歌 佐藤千夜子
二、夜明の唄 藤山一郎
同零時四〇分 ニュース
同三時四〇分（東）氣象通報
同四時 ニュース（氣象通報・釜山）
同六時（東）神樂囃子 間宮光朝社中
同六時一〇分（東）コドモの新聞 村岡花子
同六時二五分（廣）趣味講座 史蹟巡り（二十）日鮮交通史上に於ける上關と熊毛浦 小川五郎
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時 ニュース・天氣見込・職業紹介
同七時三〇分 講演 日本精神と國民生活 國學院大學長 文學博士 河野省三
同八時（東）絃樂合奏 通俗名曲定期演奏（第八回）絃樂合奏のための夜曲 八長調作品四十八番 一、奏鳴曲形式による小曲 二、圓舞曲 三、哀歌 四、終曲 日本放送交響樂團 指揮 レオニード・クロイツアー 作曲 チャイコフスキー
同八時三五分（東）新内 關取千兩幟（稻川内の段） 淨瑠璃 富士松須磨太夫 同 富士松喜代太夫 三味線 富士松喜昇 上調子 富士松昇朝
同九時（東）連續講談 柳澤昇進錄（第一席） 神田伯龍
同九時三〇（東）時報 ニュース 氣象通報・翌日の番組（地方へのニュース・レコード音樂・京城）
同一〇時 ニュース・氣象通報・地方へのニュース（朝鮮語放送）

第二放送

午後零時五分 俗曲 崔壽成
同六時三〇分 管絃樂 DK管絃團
同七時 經濟解說 徐椿
同八時 常識講座 張膺震
午後八時三〇分 自作詩朗吟 鄭芝鎔
同八時五〇分 唱劇 吳太石・外
同九時三〇分 古談 車宥吾

廿五日きゝ物

午前七時一分（京）朝の修養 琴山 山詩提唱（續） 山崎大耕
同一〇時三〇分（東）母の時間
午後零時五分（大）モダン小唄
同零時三〇分（大）國民歌謡 桃谷演奏所より中繼 佐藤千夜子外
同六時 兒童講話 夏休みおみやげばなし 南敏夫
同六時二五分（松）趣味講座 史蹟巡り（二十一）富士名判官義綱公の思出を偲ぶ 香山麿
同七時三〇分（東）講演 大島正德
同八時 マンドリン獨奏 越智明時
同八時二五分 詩吟 堀切正風
同八時三五分（東）清元 清元 雪解（三千歲） 清元延壽太夫外
同九時（東）連續講談 柳澤昇進錄（第二席） 神田伯龍

母の時間（午前十時半）

新學期の爲に健康

醫學博士 齋藤潔

齋藤博士は聖路加病院小兒科に居られ學校衛生や健康教育に研究深き方

この第二學期のはじめは、他の休暇後と違ひまして夏休み中に海や山で過勞したことからくる結核症狀を起してゐるものが多いのが目立ちます、又皮膚の病氣等に化膿することも多く、消化器傳染病も盛んな時期ですし、氣候の變化も激しくなるので子供達をそれに對應させるとともに健康の訓練によい時ですからそれらについて述べませう

神樂ばやし

夕六時 間宮光朝社中

そろそろ夏のお休みもお終ひになります、方々で秋のお祭りが初まります、お祭りといへば、私共は直ぐお神樂を思ひ出します、今日はあのお神樂ばやしの中で皆様にお馴染の深い曲をいろいろ集めて放送いたします

當代一流 爭覇血戰譜（16）

——（加藤氏一回戰二日目）——

平香交 香落 六段▽平野信助
四段▼加藤富久

四局

圖は五五龍迄の局面

「持駒」▼加藤氏 歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金		金		桂		一
			王	飛		銀	歩		二
	歩	歩	歩			角			三
歩					歩	歩	歩		四
				龍					五
歩		歩			歩				六
	歩		歩	歩		歩			七
	角	玉	銀		銀				八
香	桂		金		金		桂		九

平野氏△「なし」

持時間各九時間 消費時間 ▽三時間十八分 ▼三時間六分

▽五五飛（53分）
▼同 角
▽二二角（3分）
▼四五歩（26分）
▽一九飛打（33分）
▼三九金（6分）
▽一三飛成（12分）

觀戰記（二）

双龍子

飛車換の重壓

平野六段、加藤四段兩氏とも本年は各方面に於て華々しい活躍振りを示してゐるだけに本對局は一入の興趣を呼び、又それだけ双方の力の入れやうも、その對策に常にない長考を重ねてゐることとそれだけで頷ける

加藤四段は序盤の作戰手順に誤算をした爲め位を損じ、その結果の猛攻勢を採り又切れ味もよく飛車の交換を挑んだ

盤面に向つては間違の通り入一倍忠實な平野六段は敵の意外な出題に對し愼重に長考又長考を重ねた

敵のこの挑戰にはいなみ難く、斷然交換して防戰に努めた、もはや、攻防ともに必至を掛くるここまで來た局面となつては理論ぬき全く實戰の爭ひだけになつてしまつた

それだけ興味も一入湧く道理

席上挿話

〃加藤〃 四五歩はここでは他に手がない、例へば一三飛と打つても三三角、二二歩、一一歩、同飛成、三一金でいけない。四四角出を作つて置いて今度一二飛と打てば面白いと思ひます

〃平野〃 敵の四五歩のところで七二玉と寄る手を考へましたが一二飛と打たれる手と、二三歩と打つて四四角と出られるやうな順もあるので端を受けながら一九飛と打つた

續いて一三飛成るのところで一五飛と成ると二三歩と打たれ、次に四四角出があるので弱いやうだが已むを得ませんでした

講評

八段 金易二郎

加藤君は躊躇してゐては戰鬪力を失ふ懼れあるを以て四五歩以下攻擊に努めたのは至當の作戰である

これに對し平野君は敵に攻めの手縫りを作られては自玉の姿が惡いだけ、不利は免ぬかれない

そこで龍を自陣に据え防戰に努めたの安全な方法である

連續講談 柳澤昇進錄

——第一席——

（夜九時）

神田伯龍

◇⊙…麥飯家川町百五十石取りの藤本鋼藏部左衞門の倅鋼太郎は繼母との折合が惡く家出して尾州は犬山鍛治屋指南役中村善右衞門方を尋ね修業をしてここに八年修業の技倆の腕となつた、處が中村の一人娘に戀ひをかけられ義理と恩の板ばさみになりよんどころなく彼は犬山を去つて京都の伯父松澤家郷のもとをたづねた、暫くは食客となつてゐるうち叔父の縁でおさめと懇仲になつた

◇⊙…これを知つた叔父は鋼太郎の人物をみこんで二人の仲を許してくれる、處へ江戸の実父より鋼太郎にあてた手紙がきて繼母並に次男市松が病死し父は一人でさびしいから早く歸る樣にとの報らせがあつた、驚いた鋼太郎は叔父と相談の上おさめと型ばかりの婚禮をすませおさめ同道で江戸へ歸つた

新内

夜八時三五分

關取千兩幟 稻川内の段

富士松須磨太夫外

（跡に） 稻川もう手を組み思案にくれてゐたりしがどう思案してなりとも勝ねばならぬこの角力いはゞ一所懸命の大事な角力を金故に、ふつてやる稻川が、心のうちのせつなさきたなさ、鬮利支天にも見放され角力めらがにつきたかやロ惜さ、思ひ廻せば廻すほど空おそろしと思ひ廻せば鬮はずこぶしをにぎりしめ身をふるはして男泣き、始終を立聞く女房が涙かくして、おゝこちの人としたことがさつきにからまゝこしらへて待つてゐるのにこゝであがるか與へす云樣が何氣なければへそしらぬ顏へいやもう飯なら

（喰ひ） とうないほんに角力から呼びに來たどれいつてこうと立上ればへそんならもう行かさんすかこれ稻川どの聲がきつう亂れてあるぞへ人中へ見苦しい結ふて上げ樣と取り出すくし櫛へいや結ふて居たら暇がいるついなでつけておいてたもへお前もそんな聲していつ行かしやんしたことはないがいつその ことなにもかも 云ふて聞かして下さんせぬかへイヤ云へとはなにを云へさいたお前の心のなそれもつれ髪なでつけておかうとりいつそさつぱりいはしやんせぬかといふこといなへ嫌云ふまい云ふまいたんぼわしにいへといやつてもたかゞ女の

（手業） 云ふたら大方おくれが出よう、ついなでつけて置いてたもとかたへに直れば女房もおしてはいはぬもつれ髪、びんのほつれを撫でつける櫛のむねより要の胸ゝうしてみたき競立であよいか見やしやんせとむかふ鏡のふたとつてうつせばうつる顔と顔、申し稻川どの色も青ざめさうして目のうちもうるんでどうやら氣色の惡るさうな顔つきもうけふの角力へは斷りいふて行かしやんすなへなにをあんだらつくすぞへいつはともあれけふの角力は鐵ヶ嶽にこの稻川初日の出ぬ先から町中に待つてゐる晴れの出合何でも鐵ヶ嶽を土俵の砂へ

（うつ） めにや置かぬへいやそりやうそぢや今日の角力は鐵ヶ嶽にふつてやるお前の心と云ふ口おさへてこりや聲が高いすりやさつきにからの樣子のこらずへアイ一間で聞いてをりました、わづかの金にてづきつて斷食しやんすかわしや悲しいつそこの親父樣にへたわけめ、それいふ程ならこの樣に人にたたかれふまれはせぬわいや、昔かたぎの親父樣打あけてものいふと澀三樣に意見のなんのとやかましい若いお人の水の出ばな若し命生涯になつたときは千日に刈つたかやじやわい

（ああ） 急ぎなことできば工面の仕樣もあらうだわ百兩や三百兩の金故に大事をふつてやらざなるまいかへばふがいないやらくやしでおりやこの胸がさけるやおう道理でござんす道理おきりながらそれ程大事のこそう女房にかくさんすお前ろがきこえぬぞや角力とりもてば江戸長崎や國々やゆ

んしたそのあとの留守はなほさら女房の一人くよくよ物思ひ夫に惡我物のないやうにといのる神樂佛樂妙見樣へ精進も更らさんして願見るまで

（ほれ） た女子はありやせぬか短氣な心が出やせぬかと思ひ過しの胸の中、推量してとゝりすがりうらみ涙に暮うつる

內鮮運輸仁川出帆

大黒天丸 ●阪神行	八月十五日	十七日	
三和丸 ●阪神直航行	八月十八日	二十日	
●阪神行			
鹽取丸 ●阪神直航行	八月廿四日	廿四日	
芙蓉丸 ●阪神行	八月廿六日	廿六日	
泰福丸 ●阪神行	八月廿六日	廿七日	
大黒天丸 ●阪神行	八月廿八日	廿八日	
彥島丸 ●阪神行	八月廿九日	三十日	
日華丸	八月廿九日	三十日	

各船共都合ニ依リ關門瀨戸内寄港

港仕ル可ク候

仁川港町四丁目

大和組回漕部

電話一一〇番 一三五番 現場七一〇 七一番